

「人生の回復」

出エジプト 3:1 ~ 3:8 4:1 ~ 4:7

あるお年寄りが空港で何時間も座り込んで動かないので、係員が心配になって声をかけると、コンコルドという飛行機に乗って何千キロも移動して、あまりに早く着いたので自分の心を忘れてきたので心が着くまで待っていると云ったそうです。情報社会になってあまりに早い時代の流れの中で人生が目まぐるしく変わっています。あなたは自分を見出していますか？携帯電話もすごいスピードで形も機能も変わっています。この早い時代の流れについていけないが、現実には生きています。この逸話のように、今日は、忘れてしまっているものについて考えてみたいと思います。忙しくて自分を顧みる事がなくなってしまいませんか。目的がわからなくなっていいが、分らなければその日暮らしになってしまいます。日本は自殺の上位国です。戦後他人より豊かな生活や文化的な暮らしを求めるように教育され、豊かになりました。でも物質的にいくら豊かになっても自らの存在価値や目的が分からなければ人は生きられません。貧しい国は病気で医療が受けられず死んでいきますが、日本は違います。ある大学教授が自殺率について高い地域と低い地域について研究した結果、低い地域は、多様性が重視され、人物目的本位で総合的な他者評価有能感（自己信頼感）があり、適切な援助希求とゆるやかなコミュニティが集まり、皆違う役割があり、全ての役割に意味がある。一人の人があなたを誉めるところではなく、総合的な他者評価を受けられる場所。週に1~2回集まる家族意識のあるゆるやかなコミュニティです。

置き忘れた物を見つける

モーセは大失敗をした人物である。モーセはエジプトに生まれたイスラエル人だが、王国の次男として育った。大人になり自分の生い立ちを知り、痛めつけられている同胞をみて、自分の部下を殺してしまい、荒野の奥に40年も逃げた。私達も問題が起きた時に逃げてしまいませんか？でも、そんな時に神様がされる事は回復です。私達は過去の経験で、それも幼い時に失敗した事で苦手意識を持つようになっていく。モーセも失敗した事で自信を無くしてしまっただけで、モーセはある日燃える柴を見せられて、神様に名前を呼ばれた。モーセは王の息子としての教育を受けたのに、40年も荒野で羊を飼って口下手だった。苦手意識があった。あなたの苦手は何ですか？私たちは勉強が苦手、人と関わるのが苦手と思っているが、子供の時からそうではなかったはず。小さい子供は何でもやりたくて苦手意識など持っていない。苦手だと思っているとそれが出来なくなる。目的を果たさせない様に邪魔されている。人間は考えて意志を持って決定する存在だが、考えずに、その日暮らしの人生を歩むようにさせられている。問題が起きては考えないので、人のせいにしてしまう。これでうまくいくはずがない。でも、モーセは荒野で羊の世話をしながらか、色々な言葉を学んでいた。言葉で人を制する事を辞めて、神に祈り、神の方法で物事を成す事を選んでいく。

履物を脱ぐ

モーセは紅海を渡りイスラエルの民を導いた大リーダーのイメージがあるかもしれないが、犯罪者で、何も出来ないと思われていた頼りない自信のない人間だった。モーセの口癖は「私は出来ません。私は口下手です。誰か他の人を行かせて下さい。」だった。自信がなく、何も出来ないと言いつつもプライドがあり、自分の弱さを認めず人のせいにする人物だった。そんなモーセに神様は靴を脱ぐように言われた。靴を脱いで神様の前に出ていくとは、黙想する事です。モーセは荒野でこの事を学び、黙想が出来たようになった。皆さんは黙想していますか？日曜日とどんな気持ちで教会に来ていますか？黙想して私達の心の価値観をオフにする必要がある。過去の自信を取り去ってきた経験を脱ぐ必要がある。奴隷がイエス様の足を洗った様に、王の息子であったモーセに神様は、今までの価値を捨てて、低くなって奴隷と同じ立場になって行きなさいと言った。神様はどんな気持ちで靴を脱げと言ったのか。私達にとって靴を脱ぐとはどういう事なのか。私達の経験や価値観や考えを持ったまま、神様の前に近づく事は出来ない。

モーセが捨てた物

①権利を捨てる ②立場を捨てる ③苦手を捨てる

これを捨ないと自分の目的に到達できない。私たちは色々な経験から、どうせ私は何も出来ない、愛されていないという渋柿のような人になった。渋柿がイエス様の十字架の贖いによって甘柿に置き換えられたにも関わらず、自分は渋柿だと言い張っているようでは、食べてもらえない。モーセは痛みを知っており、同胞の為に人殺しをする篤い人だったが、神様に声をかけられても自分には出来ないと言った。もう何も出来ないと思った時に神様が働いた。

た。自分があるうちは自分が行動するので、周りのものを壊していく。自分が置かれている現状が悪い程、感謝しなさいと神様は言われている。上手くいかないには理由がある。あなた自身が変わらなさいと神様は言われている。今置かれている現状で上手くいかない時、他者から誹謗中傷される時に神様に聞く事が大切。過去の人物を見ても、痛みと訓練を通りぬけた人々が置かれた場所です。でも、私達は神様に言う前に人に言ってしまう。是非、黙想して神様に聞いて下さい。モーセはイスラエルの民を引き連れて行く中で、民の神様への不満や問題に触れた時に民に言う前に神様に祈った。モーセは、自分は昔から口下手ですと言ったが、王の子として育ったのだから、本当は違うはず。私達も昔からダメです、苦手だと言いつつ生きていくと思えば、プライドで生きていく人もいます。ある一部の他者より秀でた所で比較して、相手を見下し、自分の弱さを認めず、相手が悪い、馬鹿だと言ってしまう。でもどちらも根っこは劣等感で同じ。私達はこの二つの姿で生きていく。でも、モーセは靴を脱いだ。その時から300万人を率いていく人物に変えられた。目的がわかったからです。

目的を見つける。過去はそのための土台

過去は、自分の目的を見つけるための土台。何の為にそこにいるのか置かれた場所から逃げずに聞き続けて欲しい。人は生きる目的が分からないと死を選ぶ。目的がないと人は欲しいままに振る舞う。目的のない人は一人もいないが、特に今、男性から目的が失われている。目的を失うと権利を主張する社会になっていく。今の日本は自分の立場を守る為に権利を主張し、とことん苦手を見ない様にして、関わりたくない様にして生きようになっている。でも、今置かれた現状から学ぶ事が出来れば神様はそこから一度に変える事が出来る。過去の全ての痛み悲しみが目的の為に結果するようになる。今通っている道をあなたが離れる事は簡単。何時でもできるあなたの権限。あなたがやらないと言えは終わる。でもその為に多くの人の使命が果たされず、そのまま悪くなっていく。でも、そこで自分が変われば自分を通して誰かが救われる。その働きや方法には多様性はあるがそれは役割であり差はない。神様に是非祈って下さい。あなたの苦手な事について、そこから逃げずに、プライドに立たずに祈って下さい。私達には弱さがあります。モーセが大切にしたいのは静まって祈る礼拝です。選ぶのはあなたです。あなたにとって礼拝とは何ですか。作業や奉仕の時間ではない。神様に心を向けて色々な思いを置く必要があります。この地上では役割ゆえに知識や立場に多少差があるが、神様の目から見ると関係ない事、無です。知識を増し加える程、神の英知から離れてしまう。もし常識や経験で人を見るなら、その人を殺す事になる。あなたは自分を守る為に誰かを排除していませんか？自分の正しさを伝える為に誰かを落としたいいませんか？それは荒野に行く前のモーセの姿です。荒野に追いやられて痛みの中にいて自信を失っている人はいますか？モーセはプライドの中に生きる40年、自信を失う荒野の40年を通った。あなたはモーセのように80年もそんな道を通らないで欲しい。方法は一つです。心開いてそこから学んで欲しい。あなたの知識や経験を脇において、何のためにここに集うのか、何の為に今置かれている所にいるのか、是非、神様に聞いて下さい。祈ろうとすると眠くなって考える事を止めようとする力が働く人や、怒りや過去が浮かんで来る人もいます。負けないで下さい。必ず神様はモーセが納得するまで向き合ったようにあなたに向き合ってくれます。あなたには役割があります。それをつかむまで神様に求めて下さい。神様の計画はあなたの苦手の中にある事が多いです。使命を排除する為に苦手にさせられている事が多いからです。出来る事、得意な事を置いてみて下さい。それは第一的なものではない事が多いからです。もし、病があるなら、あなたの役割を止めようとしているので、それと戦う必要があります。色々な理由を作って神様の前に出る事を辞めないで下さい。頑なになろうとする心や、信仰を失わせる心を取り除いて下さい。環境のせいにして環境を変えても何も変わりません。人に伝えても何も変わりません。変わるのは私達です。変える事が出来るのは神様であり、それを成すのはあなたです。あなたは決断するだけです。目的を見出すだけです。この二つがあればあなたの人生は変わります。神様があなたをどの様に創ったかを感じて下さい。私達が真の礼拝者となり人生が回復されますように。

(要約者:日名 陽子)

(10月30日)